



○園独自のコメント
を御自由に記載し
いただけます。

ごまりがおのお母^{かあ}さんは、
なずまくんに、「じいじいしました。

お母^{かあ}さん 「なずま、お父^{とう}さん
がお弁当^{べんとう}を、わすれ
てしまったの。
お父^{とう}さんの、会社^{かいしゃ}
まで、お弁当^{べんとう}をとど
けてくれない？
お母^{かあ}さんは、あかちや
んのミルクをつくら
なくちゃいけない
の。」

なずまくんは、ごまつてしまいました。
なぜなら、お友^{とも}たちと野球^{やきゅう}をする
やくそくをしていたからです。
しかし、お父^{とう}さんから「お母^{かあ}さんの
言うことをよくきくんだよ」と言^いわれ
たことを思^{おも}いだし、お母^{かあ}さんのお願^{ねが}
いをきくことにしました。

なずまくん 「わかったぎよ。お父^{とう}
さんにお弁当^{べんとう}をわた
してくるぎよ。」

と言^いい、しづしづ、お父^{とう}さんの会社^{かいしゃ}
まで行くことにしました。

困った感じで

しづしづ、
悲しそうに